

地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業の達成状況について

1 宮崎県就職氷河期世代活躍応援事業の成果

(1) SNSを活用したワンストップ相談体制の整備

支援対象者やその家族等が気軽に様々な相談を寄せられるよう専用のLINEアカウントを令和2年12月に開設し、ひきこもり地域支援センターに配置する専任職員が、相談内容に応じてみやざき若者サポートステーションや自立相談支援機関等適切な支援が受けられる既存の相談窓口を紹介する仕組みを構築した。

〈実績〉

・相談件数

5件（自動応答での対応を除く、相談用アカウントで引き続き相談を受けたものを含む）

・LINEアカウント登録者

窓口紹介アカウント：28名 相談用アカウント：11名

※ 窓口紹介アカウントと合わせて、ひきこもり地域支援センター名を冠した相談用アカウントを作成。窓口紹介アカウントでひきこもり関係であると判断された案件の一部については、引き続き相談用アカウントでチャット相談を実施している。

(2) 就職氷河期世代の活躍応援に向けた機運の醸成

民生委員やひきこもり家族の会、行政機関、各種相談窓口の担当者、企業経営者等を対象として、ひきこもり8050問題や就職氷河期世代の現状について県民の理解促進を図るセミナーを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

代替として講演会での講師及びパネリストを予定していた6名のインタビュー動画を制作し、県庁ホームページにて公開している。

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/shogaifukushi/kenko/shogaisha/20201217115648.html>
ホームページトップ > 健康・福祉 > 社会福祉 > その他 > ひきこもり
8050 問題・就職氷河期世代への理解促進に向けた動画の作成について



(3) 地域プラットフォームの運営

県央、県西、県北の3つの地域ごとに地域プラットフォームを設置し、各地域での会合で支援対象者や支援内容の情報やニーズについて把握・共有を行う予定であった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

(4) K P I の達成状況

指標名	目標値	実績
本事業の実施による就職決定者数(非正規雇用を含む。)	10人	15人(※1)
就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業数	30社	17社(※2)

就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食・宿泊業や製造業を中心に雇用情勢が悪化したことや予定したセミナーの中止、内容見直し等により、企業への周知が進まなかったことが目標値未達成の理由と考えられる。

令和3年度については、マッチング事業の実施を予定していることから、更なる就職氷河期世代受け入れ企業の開拓を行う。

※1 連携して就職氷河期世代支援を行ったみやざき若者サポートステーションでの就職決定者数

※2 ハローワークで就職氷河期限定求人の募集を行った企業数

2 のべおか就職氷河期世代支援事業の成果

(1) のべおか就職応援マガジンの作成

就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業16社の情報や就職氷河期世代が活躍する姿を取りまとめた冊子を7,000部作成した。

また、冊子については43箇所へ配布を行うと共に、市のホームページで広報を行った。

(2) K P I の達成状況

指標名	目標値	実績
就職氷河期世代を積極的に受け入れる企業数	10社	16社